

「日本看護学校協議会教務主任養成講習会」第3回修了式の報告



平成30年3月23日（金）、大阪府看護協会桃谷センターにおいて、「日本看護学校協議会教務主任養成講習会」の修了式が、厚生労働省医政局看護課教育体制推進官 関根小乃枝様、公益社団法人大阪府看護協会協会長 高橋 弘枝様および多数の講師のご臨席を頂き、挙行されました。

22名の受講者一人ずつに、池西 静江会長から修了証書が手渡されたのち、会長から次のとおりの式辞がありました。「本講習会は今年度をもって終了する。3年間で70名の修了者を輩出したことで、看護基礎教育の質向上の一端を担うことができた。ただ、3年間で70名の養成数は全国の看護師等養成所の数からすれば、ほんのわずかな人数であり、この状況を続けるのでは、全養成所に受講済の教務主任が在籍できるようにするには何十年も要することになる。そこで本協議会では、これからは皆様が指導者となって、次の世代の教務主任を育てていけるような新しい事業に取り組む予定である」と。

式の終わりに田中朱美さんから、謝辞が述べられました。その内容は、分散型講習会の良さも感じた反面、自校での業務もあり非常に大変だったこと、家族の介護などで挫折しそうになったエピソードが述べられながらも、何よりも22名の仲間を得、共に学習できたことへの感謝、素晴らしい講師陣からの教えの大きさなど、涙あり笑いありの内容があった。

22名の皆様が、看護師等養成所の管理運営の中核となり、近くに迫っているカリキュラム改正に向けての自校の足かためなどに活躍されることを願います。

そして、当協議会は、いつでも皆様のお力になれることを願っております。